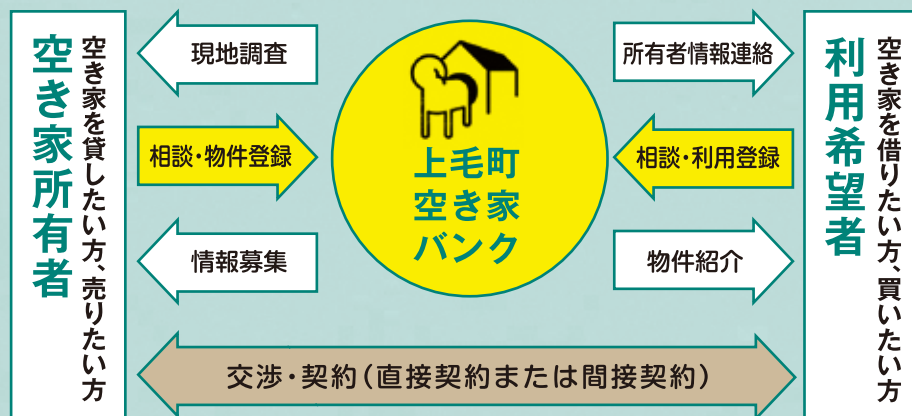


上毛町空き家バンク制度をご存知ですか？

「空き家バンク」は、空き家の賃貸や売却を希望する方からの情報を、空き家の利用を希望する方に紹介する制度です。

空き家の有効活用を通して、交流人口の拡大と移住・定住を促進し、地域の活性化を図ることを目的としています。



＊上毛町に住民登録がなくても登録できます。

上毛町に空き家を所有している方なら空き家バンクに登録可能です。

＊空き家バンクへの登録は無料です。

実際に賃貸・売買の契約を結ぶ際に宅建業者の仲介を依頼する場合は、手数料などがかります。

＊空き家の修理や清掃費用の一部を補助します。

空き家バンクにご登録いただいた方が、物件の修繕や片付け・清掃等を行う場合に、その費用の一部を補助する制度があります。補助金額は、対象経費の1/2で上限50万円です。

空き家物件紹介



友枝
エリア

【売買】応相談 【賃貸】応相談
【建物】1階/93.65㎡ 2階/27.36㎡
【築】38年 放置6年/要補修



西吉富
エリア

【売買】応相談 【賃貸】40,000円/月
【建物】1階/119.17㎡ 2階/21.66㎡
【築】50年 空き家3年/要補修



南吉富
エリア

【売買】応相談
【建物】1階/72.72㎡ 2階/14.81㎡
【築】100年 放置11年/要補修
※昭和54年リフォーム



友枝
エリア

【賃貸】50,000円/月
【建物】平屋/108㎡
【築】23年 放置なし/要補修

＊空き家バンクや物件の詳細については下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先 企画情報課 企画情報係
TEL 72-3112 ホームページ <http://koge-bukken.org/>



次男の丸君は小学1年になりました。毎日楽しそうに登校しています。最近は唐原子ども神楽を習っています。親子共々デビューが楽しみです。



今年も「ゆいぎらら」で開催されたスイートコーン狩りに参加。昨年はこんな所に住めたらいいなと思っていました。

仕事は地域おこし協力隊員として、交流・移住・定住促進と町の魅力発掘・発信を行っています。

こうげの野菜は
ホント美味しい！
友人たちにも
よく言われるんですよ



今後の暮らしについて考えていたとき、立ち寄った先で紹介された所が交流や移住希望者の入口として開設された、田舎暮らし研究交流サロンでした。自分が面白いと思う仕事、暮らし方を選びたい方が移住されていますよ。上毛町が一気に身近になってもっと町のことが知りたくなりイベントなどに参加しました。

このままでいいのか
家族が笑顔で過ごすには
50歳を迎える頃から、今後の暮らし方について考えるようになりしました。仕事で家族との時間が思うようにとれず、このままでいいのかという思いが次第に大きくなっていました。定年まであと10年、子どももまだまだ小さい、安定した生活をとるべきなのか。妻にそれとなく話をしたら「知ってたよ。話してくれるのをまっていたよ。本当にびつくりしました。会社を辞めて移住となれば、金なし、コネなし、仕事なしです。なのに背中を押してくれた妻には感謝の言葉しかありません。



桑原政行さん・幸子さん(下唐原)

働き方、住い、地域との関係 家族の思いが少しずつ形に

上毛町地域おこし協力隊
転職決定！

休日の度に訪れて、この町に住みたいと考えていた時、町が地域おこし協力隊を募集していることを知り応募。人生で初めての履歴書を書き面接を受けました。

「採用」、50歳で再就職をするとは数年前には思ってもいませんでした。ここから本格的に移住に向けての行動を開始。まず町の空き家バンクに登録し、不動産屋さんへ物件依頼をしました。が、なかなか家が見つからず。社宅を出なければならぬ日が迫り焦っていた時、空き家バンクに新規物件が出たとの連絡あり。紹介されたのが今住んでいる家です。移住までは、会社のこと、子どものこと、各種手続きなど思いのほか大変でしたが、何か前に向かっていくというか生きる力のようなものを感じることができました。

移住後には家の改修に取りかかりました。床やトイレなど、思ったより大掛かりな工事になり、住みながら、働きながらなので大変でした。幸い、地元の方が工事を行ってくれたので私も手伝うことができ、オリジナルの柱やステンドグラスも設置しました。費用は町の補助金制度を活用させていただいたのですごく助かりました。

移住してもうすぐ9ヶ月、解ったことは、まちがいなく住みやすい町だということです。野菜作りを手伝わせていただいたり、地元の行事に参加したりする中で、住んでいる皆さんも町が好きなんだなと思います。日々、ふくらんでいく町の魅力に移住者の目線で紹介していきたいと思っています。

これから移住を検討されている方に、新しい暮らしは犠牲にするものもあれば、得るものもあります。私たちが良ければいつでもご連絡ください。たくさんお話をしましょう。

